



日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

RECEIVED  
APR 18 2002  
Technology Center 2600

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office

出願年月日  
Date of Application:

2000年11月30日

出願番号  
Application Number:

特願2000-366213

出願人  
Applicant(s):

松下電器産業株式会社

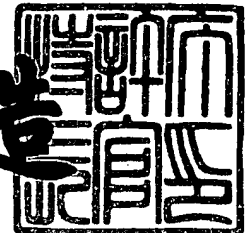
COPY OF PAPERS  
ORIGINALLY FILED

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年11月26日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 2907124090

【提出日】 平成12年11月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 7/32

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

【氏名】 小林 明夫

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

【氏名】 尾形 茂之

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

【氏名】 前川 浩志

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

【氏名】 中西 克美

【特許出願人】

【識別番号】 000005821

【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100072604

【弁理士】

【氏名又は名称】 有我 軍一郎

【電話番号】 03-3370-2470

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006529

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9908698

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像受信装置、画像送信装置および画像伝送システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 それぞれカメラの撮影画像を圧縮および符号化して送信する複数の画像送信装置からのデータをネットワークを介して受信する受信手段と、

前記複数の画像送信装置からの複数の画像のデータをそれぞれ伸長および復号化する伸長復号化手段と、

前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうち一部又は全部を前記画像送信装置ごとの画像に分けて選択的に画面表示することができる表示手段と、

前記受信手段および伸長復号化手段を制御し、前記複数の画像送信装置からのデータを送信元ごとに分けて前記受信手段に受信させるとともに、受信したデータを前記伸長復号化手段によって前記送信元ごとに分けて伸長および復号化させる制御手段とを備えたことを特徴とする画像受信装置。

【請求項 2】 前記伸長復号化手段により伸長および復号化されたデータに基づいて前記複数の画像送信装置から送信された前記複数の画像を合成する受信画像合成手段を設け、

前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうちいずれか又は前記受信画像合成手段により合成された画像を、前記表示手段によって選択的に画面表示することを特徴とする請求項 1 に記載の画像受信装置。

【請求項 3】 前記制御手段が、前記複数の画像送信装置の接続順と、前記受信データに含まれる送信元情報とに基づいて、前記受信手段および前記伸長復号化手段を制御することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像受信装置。

【請求項 4】 複数のカメラからの複数の撮影画像を合成する送信画像合成手段と、

前記送信画像合成手段により合成された画像又は前記複数のカメラのいずれかから画像のデータを圧縮および符号化する圧縮符号化手段と、

複数の画像受信装置のそれぞれに対応して作動し、前記圧縮符号化手段によって圧縮および符号化された画像のデータに前記画像受信装置のそれぞれを特定す

る宛先情報を付加して複数の宛先別送信データを作成する複数の送信データ作成手段と、

前記複数の送信データ作成手段で作成された前記宛先別送信データを前記ネットワークに送出する回線の接続をなす回線接続手段とを備えたことを特徴とする画像送信装置。

【請求項 5】 前記複数の送信データ作成手段が、前記画像受信装置のそれぞれからの送信要求の内容に応じて前記宛先別送信データのデータ量を前記宛先ごとに設定することを特徴とする請求項 4 に記載の画像送信装置。

【請求項 6】 それぞれカメラの撮影画像を圧縮および符号化して送信する複数の画像送信装置と、前記複数の画像送信装置から送信された画像データをネットワークを介して受信する画像受信装置とで構成される画像伝送システムであって、

前記画像受信装置が、

前記複数の画像送信装置からのデータを前記ネットワークを介して受信する受信手段と、

前記複数の画像送信装置からの複数の画像のデータをそれぞれ伸長および復号化する伸長復号化手段と、

前記伸長復号化手段により伸長および復号化されたデータに基づいて、前記画像送信装置から送信された複数の画像を合成する受信画像合成手段と、

前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうちいずれか又は前記受信画像合成手段により合成された画像を選択的に画面表示することができる表示手段とを備えたことを特徴とする画像伝送システム。

【請求項 7】 複数のカメラの撮影画像を圧縮および符号化したデータを送信する画像送信装置と、前記画像送信装置から送信されたデータをネットワークを介してそれぞれ受信する複数の画像受信装置とで構成される画像伝送システムであって、

前記画像送信装置が、

前記複数のカメラからの複数の画像を合成する送信画像合成手段と、

前記送信画像合成手段により合成された画像又は前記複数のカメラのいずれか

からの画像のデータを圧縮および符号化する圧縮符号化手段と、

前記複数の画像受信装置のそれぞれに対応して作動し、前記圧縮符号化手段によって圧縮および符号化された画像のデータに前記画像受信装置のそれぞれを特定する宛先情報を付加して複数の宛先別送信データを作成する複数の送信データ作成手段と、

前記複数の送信データ作成手段で作成された前記宛先別送信データを前記ネットワークに送出する回線の接続をなす回線接続手段とを備えたことを特徴とする画像伝送システム。

【請求項 8】 前記画像送信装置が I T U - T（国際電気通信連合電気通信標準化部門）勧告 H. 2 6 1 又は H. 2 6 3 の画像符号化方式で前記画像のデータを圧縮および符号化し、前記方式で圧縮および符号化されたデータを前記画像受信装置が伸長および復号化することを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の画像伝送システム。

【請求項 9】 前記画像送信装置が M P E G（Moving Picture Experts Group）規格に準拠した M P E G 1、M P E G 2 又は M P E G 4 の画像符号化方式で前記画像のデータを圧縮および符号化し、前記方式で圧縮および符号化されたデータを前記画像受信装置が伸長および復号化することを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 0】 前記画像受信装置が、前記複数の画像送信装置のうち任意の 1 つの画像送信装置からの符号化データを受信して伸長および復号化することを特徴とする請求項 6 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 1】 前記画像受信装置に前記任意の 1 つの画像送信装置からのデータの受信を選択する操作がなされる操作部が付設され、前記任意の 1 つの画像送信装置が前記操作機への選択操作入力に応じて切り換えられ、前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データが前記切り換えに応じて伸長および復号化されることを特徴とする請求項 1 0 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 2】 前記画像受信装置に前記任意の 1 つの画像送信装置の切換え条件を予め設定する設定器が付設され、前記任意の 1 つの画像送信装置が前記設定器への設定入力により設定された時間間隔および順序で順次切り換えられ、

前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データが前記切り換えに応じて伸長および復号化されることを特徴とする請求項 1 0 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 3】 前記画像受信装置が、前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データを画像送信装置別に受信し、伸長および復号化することの特徴とする請求項 6 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 4】 前記画像受信装置が、前記画像送信装置別に伸長および復号化した前記複数の画像送信装置からの複数の画像を前記画像合成手段によって 1 画面に合成し、前記複数の画像を同時に監視できるようにしたことを特徴とする請求項 6 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 5】 前記画像送信装置が前記画像受信装置のいずれかに画像のデータを送信している状態で、他の画像受信装置が前記画像送信装置に新たに接続したとき、前記画像送信装置が、前記複数の送信データ作成手段により接続中の前記画像受信装置のそれぞれに同一の画像のデータを送信することを特徴とする請求項 7 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 6】 前記画像受信装置が前記画像送信装置のいずれかから画像のデータを受信している状態で、他の画像送信装置が前記画像受信装置に新たに接続したとき、前記画像受信装置が、前記他の画像送信装置から受信した画像を画面表示するよう前記表示手段の画面表示を変更させることを特徴とする請求項 6 に記載の画像伝送システム。

【請求項 1 7】 前記画像受信装置が複数の前記画像送信装置からの画像のデータを送信している状態で、接続中のいずれかの画像送信装置と前記画像受信装置の間の接続が切断されたとき、前記画像受信装置が前記切断された接続の復帰処理を実行して前記いずれかの画像送信装置からの画像のデータを再度受信することを特徴とする請求項 6 に記載の画像伝送システム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像受信装置、画像送信装置および画像伝送システムに関し、特に

カメラ撮影による画像データ又は画像・音声データをインターネット等を介して多地点に伝送するのに好適な装置およびシステムに関するものである。

## 【 0 0 0 2 】

## 【従来の技術】

近時、TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) ネットワーク等を用いたデータ伝送が広範に利用されるようになり、そのデータ伝送速度の向上により、動画カメラの撮影画像のように連続した画像のデータであっても、これをリアルタイムに転送することが要求されるようになってきた。このような場合、通常、動画画は所定の圧縮・符号化方式に従って圧縮および符号化され、その符号化されたストリームデータが、宛先等のヘッダー情報を含むパケットデータに編集されて、ネットワーク上に送出される。そして、その宛先ごとに受信された同一送信元からのパケットの集合が伸長および復号化されて画像や音声再生されるようになっている。

## 【 0 0 0 3 】

従来のこの種の画像伝送システムとしては、例えば特開平 1 0 - 3 3 6 6 7 0 号公報に記載のものがある。この画像伝送システムでは、動画カメラサーバーからの符号化データを中継サーバーで中継受信し、この中継サーバーからアナログ公衆回線あるいは LAN (イーサネット) を介して複数のコンピュータに伝送する画像伝送方法が採用されている。

## 【 0 0 0 4 】

## 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の画像伝送システムにあっては、監視者側の 1 台の画像受信装置では接続されている 1 台のカメラ画像しかモニタリングできないため、複数の監視区域に設置された複数の画像送信装置からの画像データを監視者側で同時に受信し画面表示させるためには、複数台の画像受信装置を設置する必要があった。

## 【 0 0 0 5 】

さらに、1 台の画像送信装置から複数台の画像受信装置に画像データを送信するためには、特開平 1 0 - 3 3 6 6 7 0 号公報に記載される中継サーバー等のよ



うな特別な中継送信システムを利用する必要があった。

【0006】

本発明は、このような従来の状況に鑑みてなされたものであり、特別な装置やシステムを用いることなく、1台の画像受信装置で複数地点からの画像データを受信しモニタリングできるようにすることを目的とするものであり、また、1台で画像データを同時に複数地点へ送信できる画像送信装置を提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、本発明の画像受信装置は、それぞれカメラの撮影画像を圧縮および符号化して送信する複数の画像送信装置からのデータをネットワークを介して受信する受信手段と、前記複数の画像送信装置からの複数の画像のデータをそれぞれ伸長および復号化する伸長復号化手段と、前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうち一部又は全部を前記画像送信装置ごとの画像に分けて選択的に画面表示することができる表示手段と、前記受信手段および伸長復号化手段を制御し、前記複数の画像送信装置からのデータを送信元ごとに分けて前記受信手段に受信させるとともに、受信したデータを前記伸長復号化手段によって前記送信元ごとに分けて伸長および復号化させる制御手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0008】

この画像受信装置では、複数の画像送信装置からのカメラ画像が受信手段によって並行受信されるとともに伸長復号化手段によってそれぞれ伸長および復号化され、その伸長・復号化データに基づいて、複数の画像送信装置からの画像の一部又は全部が表示手段により選択的に画面表示される。したがって、特別な装置や中継送信システムを用いることなく、1台の画像受信装置で複数地点からの画像データを受信し、画面表示できることとなる。

【0009】

本発明の画像受信装置においては、前記伸長復号化手段により伸長および復号化されたデータに基づいて前記複数の画像送信装置から送信された前記複数の画

像を合成する受信画像合成手段を設け、前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうちいずれか又は前記受信画像合成手段により合成された画像を、前記表示手段によって選択的に画面表示するもの好ましい。この構成によると、複数の画像送信装置からの複数の画像のうちいずれか又は画像合成手段により合成された画像を、選択的に画面表示することができるので、表示手段の数（モニタ画面数）を減らすことができる。

## 【 0 0 1 0 】

また、前記制御手段が、前記複数の画像送信装置の接続順と、前記受信データに含まれる送信元情報とに基づいて、前記受信手段および前記伸長復号化手段を制御するのが好ましい。この構成によると、受信データを容易に送信元ごとに区分して伸長および復号化し、再生表示することができる。

## 【 0 0 1 1 】

本発明の画像送信装置は、複数のカメラからの複数の撮影画像を合成する送信画像合成手段と、前記送信画像合成手段により合成された画像又は前記複数のカメラのいずれかから画像のデータを圧縮および符号化する圧縮符号化手段と、複数の画像受信装置のそれぞれに対応して作動し、前記圧縮符号化手段によって圧縮および符号化された画像のデータに前記画像受信装置のそれぞれを特定する宛先情報を付加して複数の宛先別送信データを作成する複数の送信データ作成手段と、前記複数の送信データ作成手段で作成された前記宛先別送信データを前記ネットワークに送出する回線の接続をなす回線接続手段とを備えたことを特徴とするものである。

## 【 0 0 1 2 】

この画像送信装置では、複数のカメラからの撮影画像が画像合成手段によって選択的に合成され、その合成画像又は複数のカメラのいずれかからの画像のデータが圧縮符号化手段により圧縮および符号化される。そして、複数の画像受信装置のそれぞれからの送信要求に応じて複数の送信データ作成手段が作動し、圧縮・符号化された画像データに画像受信装置のそれぞれを特定する宛先情報を付加した宛先別送信データが作成されて、ネットワークに送出される。したがって、特別な中継装置等を用いることなく、多地点への画像データ送信ができる。

## 【 0 0 1 3 】

この画像送信装置においては、前記複数の送信データ作成手段が、前記画像受信装置のそれぞれからの送信要求の内容に応じて前記宛先別送信データのデータ量を前記宛先ごとに設定するようにしてもよい。その場合、画像受信装置側の受信能力に応じた伝送速度の設定が可能となる。

## 【 0 0 1 4 】

一方、本発明の画像伝送システムは、それぞれカメラの撮影画像を圧縮および符号化して送信する複数の画像送信装置と、前記複数の画像送信装置から送信された画像データをネットワークを介して受信する画像受信装置とで構成される画像伝送システムであって、前記画像受信装置が、前記複数の画像送信装置からのデータを前記ネットワークを介して受信する受信手段と、前記複数の画像送信装置からの複数の画像のデータをそれぞれ伸長および復号化する伸長復号化手段と、前記伸長復号化手段により伸長および復号化されたデータに基づいて、前記画像送信装置から送信された複数の画像を合成する受信画像合成手段と、前記伸長復号化手段により復号化された前記複数の画像のうちいずれか又は前記受信画像合成手段により合成された画像を選択的に画面表示することができる表示手段とを備えたことを特徴とするものである。

## 【 0 0 1 5 】

この画像伝送システムでは、複数の画像送信装置からのカメラ画像が受信手段によって並行受信されるとともに伸長復号化手段によってそれぞれ伸長および復号化され、その伸長・復号化データに基づいて、複数の画像送信装置からの画像の一部又は全部が表示手段により選択的に画面表示される。したがって、複数の画像送信装置からのカメラ画像を、特別な装置や中継送信システムを用いることなく表示手段により表示し、同時に監視することができる。すなわち、1台の画像受信装置で複数地点からの画像データを受信しモニタリングすることができることとなる。

## 【 0 0 1 6 】

本発明の画像伝送システムは、あるいは、複数のカメラの撮影画像を圧縮および符号化したデータを送信する画像送信装置と、前記画像送信装置から送信され

たデータをネットワークを介してそれぞれ受信する複数の画像受信装置とで構成される画像伝送システムであって、前記画像送信装置が、前記複数のカメラからの複数の画像を合成する送信画像合成手段と、前記送信画像合成手段により合成された画像又は前記複数のカメラのいずれかからの画像のデータを圧縮および符号化する圧縮符号化手段と、前記複数の画像受信装置のそれぞれに対応して作動し、前記圧縮符号化手段によって圧縮および符号化された画像のデータに前記画像受信装置のそれぞれを特定する宛先情報を付加して複数の宛先別送信データを作成する複数の送信データ作成手段と、前記複数の送信データ作成手段で作成された前記宛先別送信データを前記ネットワークに送出する回線の接続をなす回線接続手段とを備えたことを特徴とするものである。

## 【 0 0 1 7 】

この画像伝送システムでは、複数のカメラからの撮影画像が画像合成手段によって選択的に合成され、その合成画像又は複数のカメラのいずれかからの画像のデータが圧縮符号化手段により圧縮および符号化される。そして、複数の画像受信装置のそれぞれからの送信要求に応じて複数の送信データ作成手段が作動し、圧縮・符号化された画像データに画像受信装置のそれぞれを特定する宛先情報を付加した宛先別送信データが作成されて、ネットワークに送出される。したがって、特別な中継装置等を用いることなく、1台の画像送信装置から多地点の画像受信装置への画像データの送信ができる。

## 【 0 0 1 8 】

上記画像伝送システムにおいては、また、前記画像送信装置がITU-T (International Telecommunication Union-Telecommunication Standardization Sector ; 国際電気通信連合電気通信標準化部門) 勧告H. 261又はH. 263の画像符号化方式で前記画像のデータを圧縮および符号化し、前記方式で圧縮および符号化されたデータを前記画像受信装置が伸長および復号化するのが好ましく、あるいは、前記画像送信装置がMPEG (Moving Picture Experts Group) 規格に準拠したMPEG1、MPEG2又はMPEG4の画像符号化方式で前記画像のデータを圧縮および符号化し、前記方式で圧縮および符号化されたデータを前記画像受信装置が伸長および復号化するのが好ましい。このような構成による

と、画像送信装置側のカメラで撮影した画像を少ないデータ量に圧縮して伝送することができる。

## 【 0 0 1 9 】

また、画像受信装置と複数の画像送信装置で構成される画像伝送システムにおいては、前記画像受信装置が、前記複数の画像送信装置のうち任意の1つの画像送信装置からの符号化データを受信して伸長および復号化するのが好ましい。この場合、特に、前記画像受信装置に前記任意の1つの画像送信装置からのデータの受信を選択する操作がなされる操作部が付設され、前記任意の1つの画像送信装置が前記操作機への選択操作入力に応じて切り換えられ、前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データが前記切り換えに応じて伸長および復号化されるのがよい。この構成では、データを受信する画像送信装置の選択が操作部への切り換え操作入力に応じて実行可能になる。

## 【 0 0 2 0 】

さらに、前記画像受信装置に前記任意の1つの画像送信装置の切り換え条件を予め設定する設定器が付設され、前記任意の1つの画像送信装置が前記設定器への設定入力により設定された時間間隔および順序で順次切り換えられ、前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データが前記切り換えに応じて伸長および復号化される。この場合、設定器に設定入力された切り換え時間間隔等の条件に従って、複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データが順次伸長および復号化される。したがって、監視側に操作負担をかけることなく、受信画像の切り換えが容易にでき、例えば無人監視状態で監視画像データをVTR等その他のデータ記録蓄積手段に録画させることができる。

## 【 0 0 2 1 】

上記システムでは、前記画像受信装置が、前記複数の画像送信装置のそれぞれからの符号化データを画像送信装置別に受信し、伸長および復号化するようにするのが好ましい。画像送信装置ごとの監視画面表示が可能となるからである。

## 【 0 0 2 2 】

特に、前記画像受信装置が、前記画像送信装置別に伸長および復号化した前記複数の画像送信装置からの複数の画像を前記画像合成手段によって1画面に合成

し、前記複数の画像を同時に監視できるようにするのがよい。このようにすると、監視の容易化のみならず、表示手段の表示画面数を減らすことができ、システムの簡略化を図ることができる。

## 【 0 0 2 3 】

なお、画像受信装置から複数の画像送信装置に対して同一の伝送先アドレスを指定して同時に、あるいは必要時に個別に、送信要求するようにしてもよい。

## 【 0 0 2 4 】

前記画像送信装置と前記複数の画像受信装置とで構成される画像伝送システムにおいては、前記画像送信装置が前記画像受信装置のいずれかに画像のデータを送信している状態で、他の画像受信装置が前記画像送信装置に新たに接続したとき、前記画像送信装置が、前記複数の送信データ作成手段により接続中の前記画像受信装置のそれぞれに同一の画像のデータを送信するようにするのがよい。この構成では、同一の画像データを送信することで、新たな受信装置への送信データを即座に作成することができる。

## 【 0 0 2 5 】

また、画像受信装置と複数の画像送信装置で構成される画像伝送システムにおいては、前記画像受信装置が前記画像送信装置のいずれかから画像のデータを受信している状態で、他の画像送信装置が前記画像受信装置に新たに接続したとき、前記画像受信装置が、前記他の画像送信装置から受信した画像を画面表示するよう前記表示手段の画面表示を変更させるようにするのが好ましい。この構成では、画像データの受信中でも新たな送信画像を即座に画面表示できることになる。

## 【 0 0 2 6 】

この場合、さらに、前記画像受信装置が複数の前記画像送信装置からの画像のデータを送信している状態で、接続中のいずれかの画像送信装置と前記画像受信装置の間の接続が切断されたとき、前記画像受信装置が前記切断された接続の復帰処理を実行して前記いずれかの画像送信装置からの画像のデータを再度受信するのが好ましい。このような構成にすると、無人監視下で受信画像を録画するような場合に、何らかの理由で回線が切断されても、監視画像の確実な受信および

録画ができるからである。

【0027】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好ましい実施形態を図面に基づいて説明する。

【0028】

(第1の実施の形態)

【0029】

図1～図3は本発明の第1実施形態に係る画像伝送システムを示す図であり、図1はその全体構成図、図2はその画像送信装置の構成を示すブロック図、図3はその画像受信装置の構成を示すブロック図である。

【0030】

図1に示すように、本実施形態の画像伝送システムは、所定数（例えばN組）の監視地点でそれぞれ監視カメラ群を構成するカメラ10Aa～10Ae、10Ba～10Bn、・・・および10Na～10Nnと、各カメラ群のカメラ10Aa～10Ae、10Ba～10Bn、・・・または10Na～10Nnが接続された所定数（例えばN台）の画像送信装置20A～20Nと、ローカルエリアネットワーク（Local Area Network；以下、LANという）30を介して画像送信装置20A～20Nに双方向データ通信可能に接続される画像受信装置50とを具備している。ここで、画像受信装置50には、画像を画面表示するモニタ51と、ユーザが受信画像の選択操作等といった指令操作を行う操作部52とが付設されている。

【0031】

カメラ10Aa～10Ae、10Ba～10Bn、・・・10Na～10Nnの各々（以下、各カメラ10という）は、例えばCCD（Charge Coupled Device：電荷結合素子）を搭載した所定シャッタースピードの、ズーム機能およびポジションプリセット機能付きのCCTV（Closed Circuit Television）カメラで構成されている。また、詳細は図示しないが、各カメラ10には、その監視区域内の全域を撮影するためにパニング（水平旋回運動）およびチルティング（垂直方向運動）機能を発揮するカメラ駆動機構と、プリセットされた位置情報等に

基づいてそのカメラ駆動機構を作動させる駆動回路と、撮影された映像を所定時間ごとの画面の画像信号として信号処理する画像処理回路とが内蔵されている。そして、各カメラ 1 0 から出力された画像信号は、各カメラ 1 0 に対応する画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N のいずれかに取り込まれる。

## 【 0 0 3 2 】

各画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N は共通する構成を有しているので、その共通する構成を、図 2 に画像送信装置 2 0 として示している。

## 【 0 0 3 3 】

この画像送信装置 2 0 は、画像入力部 2 1、画像合成部 2 2、回線接続制御部 2 3（回線接続手段）、送信制御部 2 4、音声入力部 2 5、画像音声符号化部 2 6（圧縮符号化手段）および複数の画像音声送信部 2 7 a ~ 2 7 m（送信データ作成手段）を含んで構成されている。

## 【 0 0 3 4 】

画像入力部 2 1 には、各カメラ群 1 0 A a ~ 1 0 A e、1 0 B a ~ 1 0 B n、  
・・・又は 1 0 N a ~ 1 0 N n を構成するカメラ、例えば 1 0 a ~ 1 0 e に接続されており、画像合成部 2 2 は画像入力部 2 1 の入力画像データに基づいて後述する合成画像の画像データを選択的に作成することができる画像合成手段となっている。また、回線接続制御部 2 3 は、LAN 3 0 を介した画像送信装置 2 0 の受信側との回線接続をなす回線接続手段であるとともにその接続状態を制御するようになっている。送信制御部 2 4 は、各種システム設定情報やプリセット情報を記憶する図示しない内部メモリを有し、回線接続制御部 2 3 からの回線接続情報および所定の制御信号（例えばカメラ切換えを指令する信号）に応じて画像合成部 2 2 および画像入力部 2 1 をそれぞれ制御する。この送信制御部 2 4 は、また、回線接続制御部 2 3 にどの外部受信装置と接続するかを指示するようになっている。画像音声符号化部 2 6 には各監視地点に設置されたマイクロホン等の音声装置 1 9 からの音声信号が音声入力部 2 5 により増幅されて入力されるとともに画像合成部 2 2 からの画像データが入力され、画像音声符号化部 2 6 はその入力データを符号化として各監視地点の映像および音声の符号化データを作成する。画像音声送信部 2 7 a ~ 2 7 m は、画像受信装置 5 0 が複数ある場合の最大接



続数mだけ設けられており、これら画像音声送信部27a～27mは画像音声符号化部26からの各カメラ10ごとの画像符号化データとその画像に同期するオーディオ符号化データとを、回線接続制御部23を介して接続された各画像受信装置50に送信することができる。

#### 【0035】

具体的には、画像入力部21は図示しないA/D変換器、映像入力切換え回路および画像メモリ等を含んで構成されており、この画像入力部21は、各カメラ10からの映像入力データを現在の監視画面データとして前記画像メモリに一時的に記憶し、更新することができるとともに、映像入力データの入力先をカメラ10a～10eのうち一部（例えばドーム型のカメラ10a）に制限したりその入力先を他のカメラ（例えばカメラ10b～10e）に切換えたりすることができる。また、画像入力部21の前記映像入力切換え回路は、予め任意に設定されたカメラ切換え順序およびその切換え時間（例えば1秒以上の設定時間）間隔に応じて、送信制御部24からの切換え指令信号を受け、その指令信号に応じてカメラ10a～10eのうち画像入力するカメラを順次切り換えることができる。

#### 【0036】

また、画像合成部22は、各カメラ群の複数のカメラ10a～10eからの入力画像、例えばカメラ10a～10eの順に一定時間ごとに入力される画像データに基づいて、複数のカメラの映像を複数の入力画像表示領域を持つ1画面に合成した合成画面データを出力することができる。すなわち、複数のカメラ10a～10eで撮影されている映像を同時に一画面で表示する画面のデータを作成することができる。あるいは、画像合成部22は、各カメラ10a～10eからの入力画像を、カメラ切換え時間ごとに切り換わる各監視カメラ画像としてそのまま出力することができる。この画像合成部22を画像合成モードか否かに切換える制御および入力切換えの制御は、送信制御部24によって実行される。

#### 【0037】

送信制御部24は、予め設定されたポジションプリセット情報や、送信、画像合成および回線接続制御を実行する際の条件等を記憶する内蔵メモリを有しており、この送信制御部24が、そのメモリ情報や、回線接続制御部23からの回線

接続情報および受信側からの要求信号等に基づいて、画像入力部 2 1 の入力切換え、画像合成部 2 2 での画像合成の有無、回線接続制御部 2 3 による接続先の増減の指示等を行うようになっている。また、送信制御部 2 4 に対する画像合成の有無等の指令入力、各監視地点について、画像受信装置 5 0 側から操作部 5 2 によってなされるようになっている。

## 【 0 0 3 8 】

また、画像送信装置 2 0 は各カメラ 1 0 からの映像データと各カメラ 1 0 の監視区域の音声を入力するが、入力データをそのまま送信すると送信データ量が膨大となるため、画像音声符号化部 2 6 で圧縮符号化して、適正データ量の送信データを作成する。

## 【 0 0 3 9 】

ここでの入力データにおける動画像の圧縮符号化には、フレーム間予測と D C T (Discrete Cosine Transform ; 離散コサイン変換) とを組み合わせたハイブリッド圧縮符号化技術である M P E G (Moving Picture Experts Group) 、例えば M P E G 1、M P E G 2 または M P E G 4 の圧縮符号化方式を採用している。もちろん、同等な若しくはそれ以上の他の情報圧縮技術を用いることもできる。なお、M P E G は、I S O (International Organization for Standardization ; 国際標準化機構) に準拠したオーディオ・ビデオ通信用の映像符号化の国際標準であり、M P E G 1、2、4 はそれぞれその規格の一部を構成する映像データの圧縮方式である。また、フレーム間予測は冗長性の高い画像データに対して時間方向の冗長度を削減するものであり、D C T は空間方向の冗長度を削減する直交変換である。

## 【 0 0 4 0 】

具体的には、画像音声符号化部 2 6 では、画像合成部 2 2 からの画像データがフレーム間予測を行うための図示しないフレームメモリに一時記憶されるとともに、そのフレームメモリの記憶データが順次更新されることで、複数のフレーム画像データとして取り込まれることになる。詳細は図示しないが、この画像音声符号化部 2 6 では、前記フレームメモリに記憶された各フレーム画像データを、例えば所定画素×所定ラインのマクロブロック(動き補償の単位となるブロック

）単位で読み出しながら、公知の動きベクトル検出を行い、圧縮符号化を行う。  
また、この符号化に際しては、符号化データをランダムに再生できるよう、その符号化データのビットストリームをGOP (group of pictures) 構造としている。GOPは、通常、直接復号できるようフレーム間予測をせずに静止画モードで符号化されたイントラ符号化フレーム（Iピクチャ）と、時間的に前（過去）のフレームから一方向のフレーム間予測を行った順方向符号化フレーム（Pピクチャ）と、時間的に前（過去）と後（未来）の2フレームから双方向のフレーム間予測を行った双方向予測符号化フレーム（Bピクチャ）とから構成される。なお、I、P、Bピクチャを用いた動き補償の手順は公知であるので、ここではその詳細説明は割愛する。

## 【 0 0 4 1 】

画像音声符号化部 2 6 での音声データの圧縮符号化は、例えば公知のMPEGオーディオ方式（例えばMP3 (MPEG Audio Layer-3) 又はAAC (Advanced Audio Coding) ）によるもので、符号化されたオーディオ・ビット・ストリームは個々に単独でオーディオ信号に復号可能な複数のオーディオ復号単位（AAU）で構成される。各AAUはヘッダ、オーディオデータ等を含んだ符号化データとして作成されるようになっているが、そのオーディオデータの構成や符号化の順序については公知であり、ここでは詳細な説明を省略する。

## 【 0 0 4 2 】

一方、各画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m では、画像音声符号化部 2 6 からの符号化データを各カメラ 1 0 ごとの映像（動画像）の符号化データと、その画像に同期するオーディオ符号化データとに、これらのデータを受信すべき相手先の画像受信装置 5 0 を特定する宛先アドレスを付加して、宛先別送信データが作成される。具体的には、宛先別送信データは、例えばTCP/IP通信のためのTCPヘッダおよびIPヘッダを含んだパケット単位のデータに分割されて送信されるようになっており、そのIPヘッダ中に宛先および送信元のIPアドレスが含まれる。すなわち、各画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m は画像音声符号化部 2 6 からの符号化データをTCP/IP化し、LAN 3 0 に送出する。この場合、同一画像データであれば宛先IPアドレスをマルチキャストアドレスとすることが可

能である。

【 0 0 4 3 】

なお、通信パケット構造については公知であるのでここでは詳述しないが、宛先別送信データのパケットには宛先アドレスや送信元アドレスの他に、受信パケットから元のデータを組み立てるための識別子やデータサイズ、パケット番号と共に送信画像データの一部が含まれている。画像受信装置 5 0 以外の他の画像受信装置が接続された場合に各画像受信装置の回線接続状態や各画像受信装置からの要求伝送速度（要求された転送レート）等に応じた送信データ量となるように、各画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m で作成する宛先別送信データのデータ量を適宜設定することができる。例えば複数の画像受信装置 5 0 等のうち、いずれか 1 つが 1 M b p s の伝送速度で接続していればその受信装置には大量のデータを、他のいずれか 1 つが 3 8 4 k b p s の伝送速度で接続していればその受信装置には少量のデータを送るようにデータ量を異ならすことができる。ただし、通常は、宛先が複数ある場合でも同一の画像データを送信するのが好ましい。宛先が複数指定されていても、一度データ送信すれば、通信経路上のルータが宛先に応じて自動的にデータを複製でき、効率よくデータ伝送できるからである。

【 0 0 4 4 】

各画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m で作成された宛先別送信データは、回線接続制御部 2 3 から L A N 3 0 （例えば T C P / I P ネットワーク）を介して、宛先の画像受信装置 5 0 に送信される。

【 0 0 4 5 】

回線接続制御部 2 3 では、L A N 3 0 を介した画像受信装置 5 0 からの送信要求を送信制御部 2 4 に伝えるとともに、送信制御部 2 4 からの指令信号に従ってその画像受信装置 5 0 との間の接続を確立する。また、送信制御部 2 4 は、画像受信装置 5 0 からの送信要求やカメラ切換え等の指令情報を取り込み、その画像受信装置 5 0 からの要求に応じて、回線接続制御部 2 3 を作動させる。そして、画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m のうち接続された画像受信装置 5 0 の数に応じて、画像音声送信部 2 7 a ～ 2 7 m の一部又は全部が図示しないバッファに一時的にデータを蓄積しながら、同時に接続されている画像受信装置 5 0 のそれぞれに

宛先別送信データを送信するよう、LAN 30 にデータを送出する。

## 【0046】

一方、画像受信装置 50 は、各監視地点から離れた監視室に設けられ、図 3 に示すように構成されている。

## 【0047】

同図において、画像受信装置 50 は、回線接続制御部 53、複数の画像音声受信部 54 a ~ 54 n、複数の画像音声復号化部 55 a ~ 55 n（伸長復号化手段）、画像音声合成部 56、環境設定管理部 57、画像音声出力部 58 および受信制御部 59 を含んで構成されている。

## 【0048】

回線接続制御部 53 は LAN 30 に接続されており、この回線接続制御部 53 を介した複数の画像送信装置 20 A ~ 20 N の接続順と、受信データに含まれる送信元情報とに基づいて、受信手段である複数の画像音声受信部 54 a ~ 54 n への受信データの振り分けがなされる。例えば、その接続順と受信パケット中の IP アドレスおよびヘッダ情報とを関連付け、1 番目に接続が確立された画像送信装置 20 A からの受信データは 1 番目の画像音声受信部 54 a に、2 番目に接続された画像送信装置 20 B からの受信データは 2 番目の画像音声受信部 54 b に、n 番目に接続された画像送信装置 20 N からの受信データは n 番目の画像音声受信部 54 n にそれぞれ受信させる、といった具合に受信データを画像音声受信部 54 a ~ 54 n に送信元ごとに振り分けて受信させるようになっている。

## 【0049】

したがって、複数の画像音声受信部 54 a ~ 54 n では、それぞれ複数の監視地点の画像送信装置 20 A ~ 20 N からの合成画像又は 1 台のカメラの撮影画像となるべきパケットデータが連続して受信され、そのパケットのヘッダ情報に基づいて元の画像符号化データが組立可能となる。

## 【0050】

画像音声復号化部 55 a ~ 55 n は対応する画像音声受信部 54 a ~ 54 n にそれぞれ直列に接続されるとともに、直列接続された各画像音声受信部 54 および画像音声復号化部 55 の対が互いに並列に接続されて、回線接続制御部 53 と

画像音声合成部 5 6 の間に介在している。これら画像音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 n はそれぞれ対応する画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 n で受信され、組み立てられた符号化データを復号化する。

#### 【 0 0 5 1 】

この復号化データに基づいて、受信画像合成手段である画像音声合成部 5 6 では、複数の監視地点の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N に対応する複数の送信画像を選択的に合成し、あるいは、各画像送信装置 2 0 からの送信画像をそのまま出力する。そして、画像音声出力部 5 8 は、画像音声合成部 5 6 の出力に応じてスピーカ付きのモニタ 5 1 に映像及び音声を再生出力する。

#### 【 0 0 5 2 】

また、この状態において、操作部 5 2 に指令操作入力されると、制御手段としての受信制御部 5 9 がその指令操作入力等に応じて回線接続制御部 5 3 を制御し、例えば受信画像データの選択（監視地点の選択）あるいは合成画面 / 1 画面の出力切換え（複数監視地点の同時監視 / 一監視地点の監視の切換え）を指令するようになっている。環境設定管理部 5 7 へは予めシステム設定条件等の設定入力がされ、適宜必要な設定変更の入力操作がされ、この設定情報は受信制御部 5 9 内のメモリに設定登録データとして読み出し可能に記録・保存される。

#### 【 0 0 5 3 】

具体的には、回線接続制御部 5 3 は受信制御部 5 9 からの制御信号に従って、受信画像データの選択あるいは合成画面 / 1 画面の出力の切換えを指令する操作部 5 2 への指令操作入力に応じるよう、その指令操作に対応するいずれかの画像送信装置 2 0 との接続を確立し、送信要求等の指令信号を送った後、その画像送信装置 2 0 から送信された圧縮符号化データを入力する。この入力データは、例えば画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 n に受信される際に、まず、画像と音声の圧縮符号化データに分離され、図示しないバッファに一時的に蓄積されながら、各画像送信装置 2 0 ごとに受信先を振り分けられて画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 n に受信される。

#### 【 0 0 5 4 】

画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 n における受信データは、それぞれ対応する画像

音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 n に取り込まれ、そこで取り込まれた圧縮符号化データがそれぞれ圧縮符号化とは逆に公知の復号・伸長方法により伸長および復号され、送信前と同様な画像および音声データが作成される。ここでは詳細は説明しないが、例えば G O P のうちまず I ピクチャが静止画として復号され、それを現在の画面として、現在画像に対する動きベクトルおよび予測誤差（現在画像との差分）のデータから、次の画面を予測して次画面の画像を生成するという手順で動画像が再生されることになる。

## 【 0 0 5 5 】

そして、画像音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 n の出力は、それぞれ画像音声合成部 5 6 で各カメラ群のカメラ 1 0 a ~ 1 0 e に対応する複数の復号画像が合成されて、あるいは、各カメラ 1 0 の撮影画像がそのまま、画像音声出力部 5 8 に出力される。そして、この画像音声出力部 5 8 からモニタ 5 1 に映像及び音声を再生させる出力がされる。また、操作部 5 2 により受信画像データの選択あるいは合成画面 / 1 画面の出力切換えを指令する操作がされると、その指令操作入力を受けた受信制御部 5 9 によって回線接続制御部 5 3 が制御され、受信および再生出力の状態が指令操作に応じて制御されることになる。

## 【 0 0 5 6 】

次に、このシステムにおける画像伝送とその作用について説明する。

## 【 0 0 5 7 】

上述のように構成された本実施形態の画像伝送システムにおいては、画像受信装置 5 0 の操作部 5 2 によって監視地点が指定され、例えば複数監視地点（全監視地点を含む）の同時監視、又は特定の一つの監視地点の個別監視が選択されると、その指令操作を受けた画像受信装置 5 0 の受信制御部 5 9 が回線接続制御部 5 3 を制御し、複数の監視地点の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N のいずれか複数との接続を確立させる。あるいは、画像受信装置 5 0 に特定の監視地点の個別監視が指令されたとすると、画像受信装置 5 0 は回線接続制御部 5 3 にその特定の画像送信装置 2 0 との接続を確立させる。

## 【 0 0 5 8 】

いま、例えば画像受信装置 5 0 に全監視地点の同時監視が指令され、画像受信

装置 5 0 と全監視地点の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N との接続が確立されたとすると、この画像受信装置 5 0 は複数の監視地点の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N から送信されてくる画像データを同時に受信する。したがって、監視室等には複数の監視地点に対応する複数の画像受信装置 5 0 を配置する必要がなく、システム構成を簡略化を図ることができる。この場合、画像受信装置 5 0 は複数の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N に接続されるが、複数の監視地点への接続に際しては、受信制御部 5 9 が回線接続制御部 5 3 に複数の監視地点の画像送信装置 2 0 との接続を確立させるとともに、その接続確立数に対応する画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 n の一部又は全部に接続した画像送信装置 2 0 からの送信データを受信させ、それぞれ対応する画像音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 n で伸長および復号することにより、複数監視地点の同時観察ができることになる。

## 【 0 0 5 9 】

一方、各画像送信装置 2 0 では、画像音声符号化部 2 6 や回線接続制御部 5 3 を単一にしながらも、複数のカメラ 1 0 a ~ 1 0 e の撮影画像をそれぞれ符号化したり、合成画像として符号化したりすることができ、各カメラ 1 0 a ~ 1 0 e の撮影画像の符号化データを別個の送信データとして送信することができるので、画像送信装置側の構成も簡素化できる。

## 【 0 0 6 0 】

また、画像受信装置 5 0 は複数台の画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N から送信されてくる画像データを複数の分割画面又は小画面として、監視地点の数より少数、例えば 1 台の監視用モニタ 5 1 に合成画面として表示するので、監視室等に監視用モニタを多数設置することなく複数の監視地点の同時監視が可能となる。

## 【 0 0 6 1 】

さらに、各画像送信装置 2 0 が複数台のカメラ 1 0 a ~ 1 0 e の撮影画像を 1 画面に分割配置した合成画面を選択的に出力できるので、1 台又は少数の監視用モニタ 5 1 の画面上において、各監視地点の複数台のカメラ 1 0 a ~ 1 0 e の撮影画像からその監視地点の状況を全体的に把握し確実に監視することができる。

## 【 0 0 6 2 】

一方、例えば画像受信装置 5 0 に特定の監視地点の個別監視が指令され、画像



受信装置 5 0 とその特定の監視地点の画像送信装置 2 0 との接続が確立されたとすると、画像受信装置 5 0 は特定の一つの監視地点の画像送信装置 2 0 から送信されてくる画像データを受信する。したがって、受信側の監視者が見たい監視点を任意に選択して、その監視地点の映像だけを大きな画面サイズで観察することができることになる。

## 【 0 0 6 3 】

また、このような複数監視地点の同時監視又は特定監視地点の個別監視のいずれの場合においても、必要に応じて、操作部 5 2 を操作することにより、各監視地点の監視モードを複数台のカメラ 1 0 a ~ 1 0 e による同時監視から特定のモニタによる監視又は所定順序での監視カメラ切換え（例えばカメラ 1 0 a、1 0 b、・・・1 0 n の順に自動切換え）を行う監視モードに切り換えたり、各監視カメラに付随するズーム機能やモーションディテクション機能等を活用したりすることも可能であるから、各地点の監視機能を最適化しながらの複数監視地点の確実な監視が可能となる。

## 【 0 0 6 4 】

さらに、モニタリングする画面の画像（監視画像）の再生条件、例えば再生の順序を画像送信装置 2 0 A ~ 2 0 N の順、あるいは、各画像送信装置 2 0 におけるカメラ 1 0 a ~ 1 0 e の順といった具合に設定したり、その再生時刻を予め設定したりしておくことにより、受信側で監視者が不在となる時間帯等に V T R 録画を行うことができ、監視者と含めたシステムの簡略化を図ることができる。

## 【 0 0 6 5 】

また、本実施形態においては、画像圧縮伸長方式として、M P E G 1、M P E G 2 又は M P E G 4 を採用しているので、各画像送信装置 2 0 の送信画像を圧縮画像データとして少ないデータ量で伝送することができる。もちろん、画像圧縮伸長方式として、I S D N (Integrated Services Digital Network; サービス総合デジタル網)、G S T N (アナログ電話網) 又は L A N (ローカルエリアネットワーク (低速)) に対応するオーディオ・ビデオ通信映像符号化の国際標準である I T U - T (国際電気通信連合電気通信標準化部門) 勧告の H. 2 6 1 又は H. 2 6 3 を採用することができ、その場合でも、各画像送信装置 2 0 の送信

画像を圧縮画像データとして少ないデータ量で伝送することができる。ここで、H. 261はISDNによるテレビ会議・テレビ電話用の映像符号化標準であり、H. 263はGSTNのテレビ電話システム符号化方式である。

## 【0066】

ところで、本実施形態の画像伝送システムにおいて、いずれかの画像送信装置20から画像受信装置50へのデータ送信中に両装置20、50間における接続が切れることがあり得るが、その場合、通信制御部59は回線接続制御部53に相手先への接続確立処理を繰り返し実行させ、接続が切れてしまったいずれかの画像送信装置20との接続が可能な状態に復帰したときに即座にその画像送信装置20からの受信を再開できるようにしている。したがって、VTR録画中にいずれかの画像送信装置20との接続が切れたような場合、その画像送信装置20からの監視画像が画像受信装置50側に一時的に輸入されなくなるが、接続可能な状態に回復した場合には迅速に受信を再開でき、監視状態への迅速な復帰を図ることができる。

## 【0067】

(第2の実施の形態)

## 【0068】

図4は、本発明の第2の実施形態に係る画像伝送システムを示す図である。

## 【0069】

同図に示すように、本実施形態の画像伝送システムは、特定の監視地点に複数のカメラ110a～110eを設置するとともに、これらのカメラ110a～110eを特定の画像送信装置120に接続したものであり、画像送信装置120はLAN130を介して画像受信装置150A、150B、150Cのそれぞれと双方向データ通信可能に接続されている。ここで、画像受信装置150A、150B、150Cには、それぞれ画像を表示するモニタ151と、ユーザが受信画像の選択操作等といった指令操作を行う操作部152とが付設されている。

## 【0070】

カメラ110a～110eは、例えば上述の実施形態における各カメラ10と同様のCCTVカメラで構成されており、各カメラ110から出力された映像信

号は画像送信装置 1 2 0 に取り込まれる。この画像送信装置 1 2 0 は、上述の実施形態における各画像送信装置 2 0 と同様に構成されているので、上述の符号を用いて説明すると、カメラ 1 1 0 a ~ 1 1 0 e に画像入力部 2 1 が接続され、この画像入力部 2 1 の入力画像データに基づいて画像合成部 2 2 で合成画像の画像データが選択的に作成される。また、画像合成部 2 2 の出力画像データは画像音声符号化部 2 6 に入力され、各カメラ 1 1 0 の監視映像の符号化データが作成される。もちろん、画像音声符号化部 2 6 では、各カメラ 1 0 の監視地点に設置されたマイクロホン等の音声装置 1 9 からの音声信号を音声入力部 2 5 を介し増幅して入力し、これも符号化する。そして、画像音声符号化部 2 6 からの符号化データが各カメラ 1 1 0 ごとの画像に同期するオーディオ符号化データとして多重化され、画像音声送信部 2 7 a ~ 2 7 m により送信データ化される。送信に際しては、回線接続制御部 2 3 および送信制御部 2 4 により、LAN 1 3 0 を介した画像受信装置 1 5 0 A、1 5 0 B 又は 1 5 0 C（以下、各画像受信装置 1 5 0 という）からの送信要求に対して、各画像受信装置 1 5 0 との接続確立が許容されるとともに、各画像受信装置 1 5 0 からの送信要求やカメラ切換え等の指令情報が取り込まれ、その要求に応じたデータ送信制御が時候される。

#### 【 0 0 7 1 】

また、LAN 1 3 0 を介して画像送信装置 1 2 0 に接続された各画像受信装置 1 5 0 は、それぞれ上述の実施形態における画像受信装置 5 0 と同様に構成されている。そして、各画像受信装置 1 5 0 の受信制御部 5 9 によって回線接続制御部 5 3 が制御され、画像送信装置 1 2 0 からの送信データが各画像受信装置 1 5 0 に受信される。このとき、例えば画像送信装置 1 2 0 からの送信データがカメラ 1 1 0 a ~ 1 1 0 e の撮影画像を 1 画面に合成したものである場合には、任意の一つの画像音声受信部、例えば画像音声受信部 5 4 a で受信される。また、各画像音声受信部 5 4 a ~ 5 4 e からの符号化データは画像音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 e でそれぞれ伸長および復号される。画像音声復号化部 5 5 a ~ 5 5 e の出力データは画像音声合成部 5 6 で映像及び音声を再生出力する信号に合成され、画像音声出力部 5 8 からスピーカ付きのモニタ 1 5 1 に出力されて、映像及び音声の再生出力がなされる。

## 【 0 0 7 2 】

また、画像送信装置 1 2 0 の送信制御部 2 4 は、画像音声送信部 2 7 a により 1 台の画像受信装置、例えば画像受信装置 1 5 0 A に監視情報の符号化データを送信している間に、他の画像受信装置 1 5 0 B 又は 1 5 0 C からの送信要求を受けた場合、空いている画像音声送信部、例えば画像音声送信部 2 7 b 又は 2 7 c との間でその画像受信装置 1 5 0 B 又は 1 5 0 C との接続を確立するとともに、接続したすべての画像受信装置、例えば画像受信装置 1 5 0 A および 1 5 0 B に対して、複数の画像音声送信部、例えば画像音声送信部 2 7 a、2 7 c を使ってそれぞれ同一の符号化データを送信する制御を実行するようになっている。

## 【 0 0 7 3 】

したがって、複数の監視室や監視センター等で、それぞれ同一の画像送信装置 1 2 0 からの監視情報に基づいて、監視システムの信頼性を高めるべく同一の重要監視地点を多重にモニタリングすることができ、そのような多重監視システムにおける画像受信装置および画像送信装置の簡略化を図ることができる。

## 【 0 0 7 4 】

## 【発明の効果】

本発明によれば、特別な装置や中継送信システムを用いることなく、1 台の画像受信装置で複数地点からの画像データを受信し、画面表示できる画像受信装置を提供することができるものである。また、特別な中継装置等を用いることなく、多地点への画像データ送信ができる画像送信装置を提供することができるものである。

## 【図面の簡単な説明】

## 【図 1】

本発明の一実施形態に係る画像伝送システムの概略ブロック構成図

## 【図 2】

一実施形態の画像送信装置の構成を示すそのブロック図

## 【図 3】

一実施形態の画像受信装置の構成を示すそのブロック図

## 【図 4】

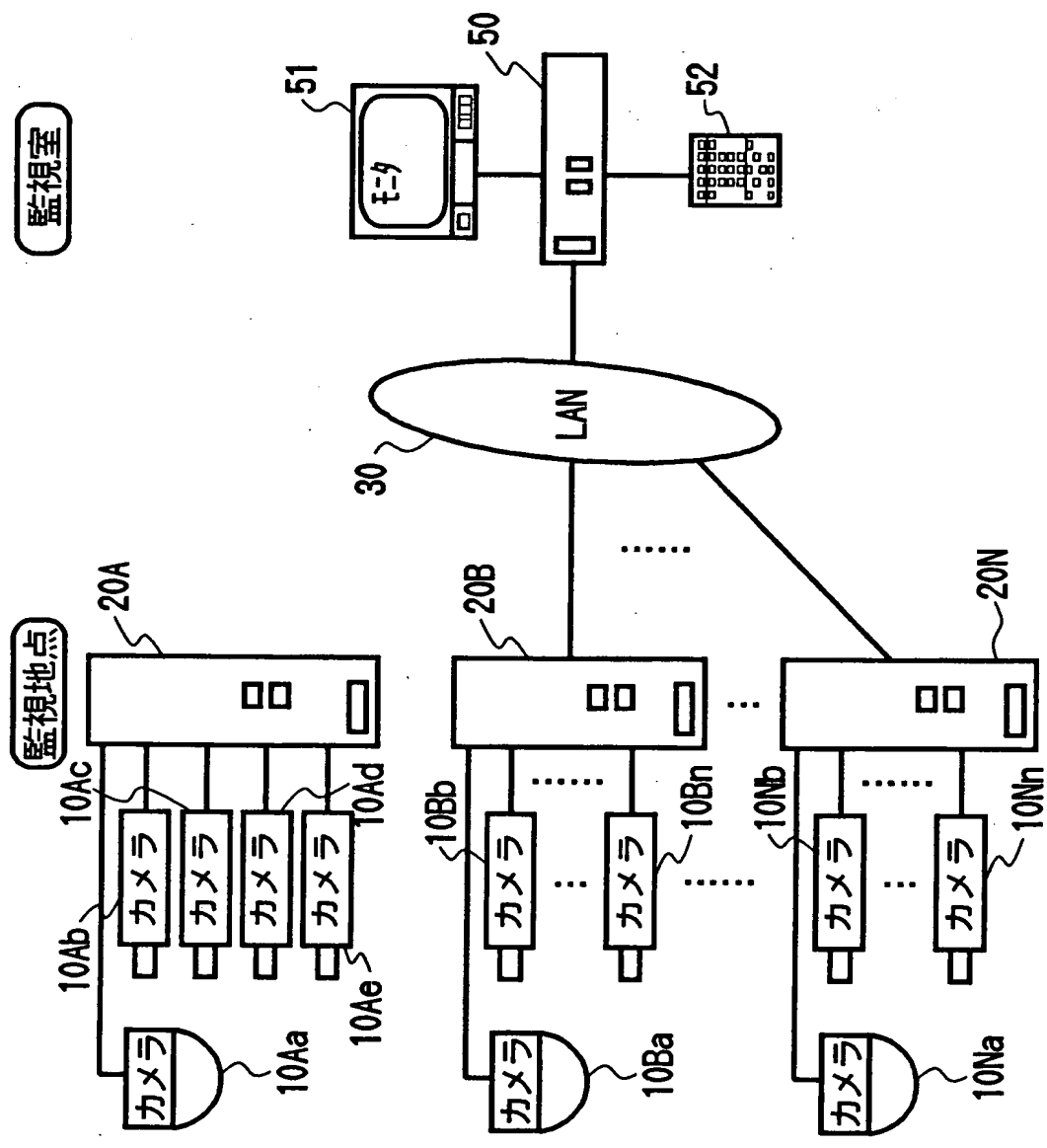
本発明の一実施形態に係る画像伝送システムの概略ブロック構成図

【符号の説明】

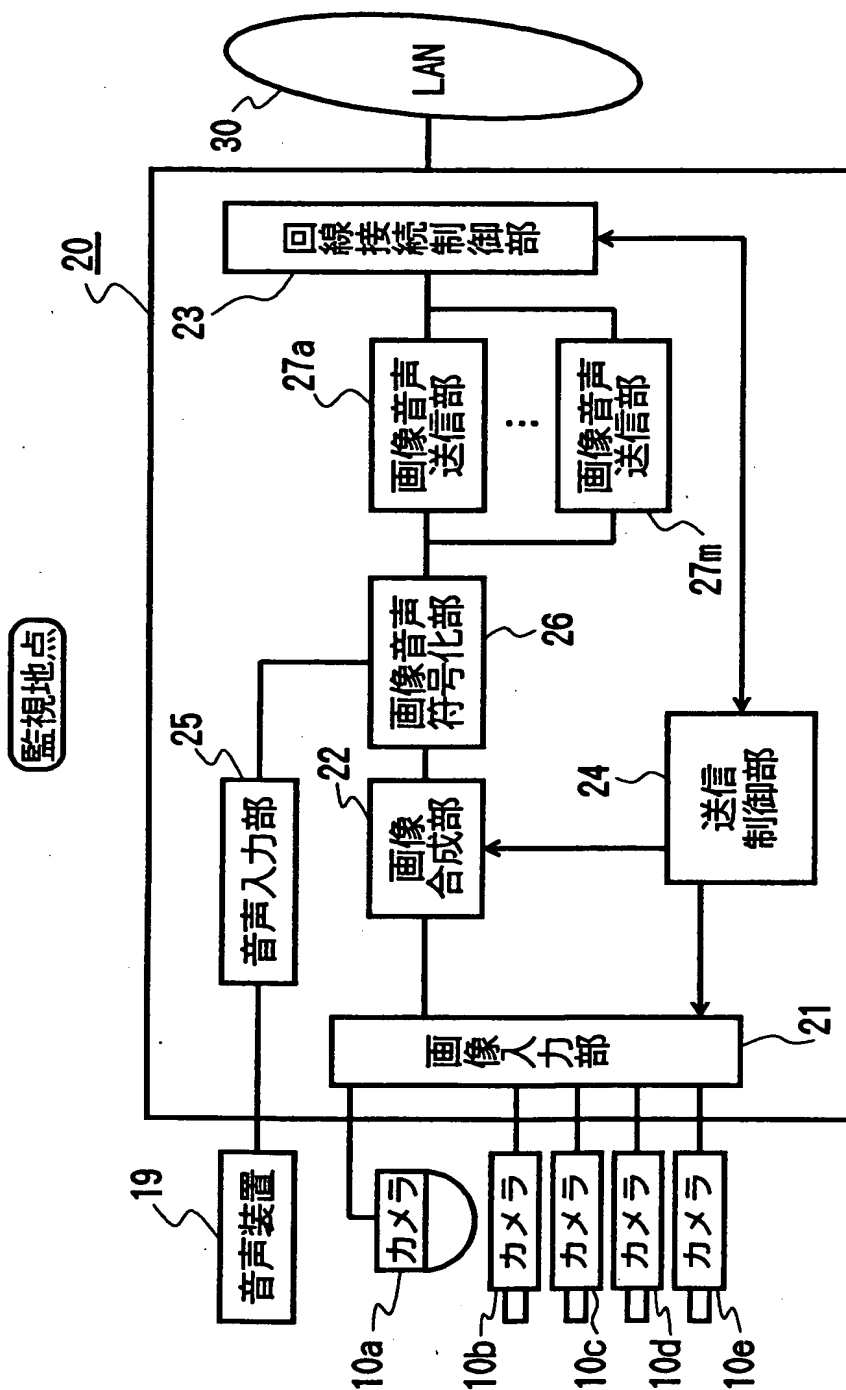
- 10、10a～10e、110、110a～110e      カメラ  
10Aa～10An、10Ba～10Bn、10Na～10Nn      カメラ群  
19      音声装置  
20、20A～20N、120      画像送信装置  
21      画像入力部  
22      画像合成部（画像合成手段）  
23      回線接続制御部（回線接続手段）  
24      送信制御部（制御手段）  
25      音声入力部  
26      画像音声符号化部（圧縮符号化手段）  
27a～27n      画像音声送信部（送信データ作成手段）  
30、130      LAN（ネットワーク、TCP/IPネットワーク）  
50、150、150A、150B、150C      画像受信装置  
51、151      監視用モニタ  
52、152      操作部  
53      回線接続制御部  
54、54a～54n      画像音声受信部（受信手段）  
55、55a～55n      画像音声復号化部（伸長復号化手段）  
56      画像音声合成部（受信画像合成手段）  
57      環境設定管理部  
58      画像音声出力部  
59      受信制御部（制御手段）

【書類名】 図面

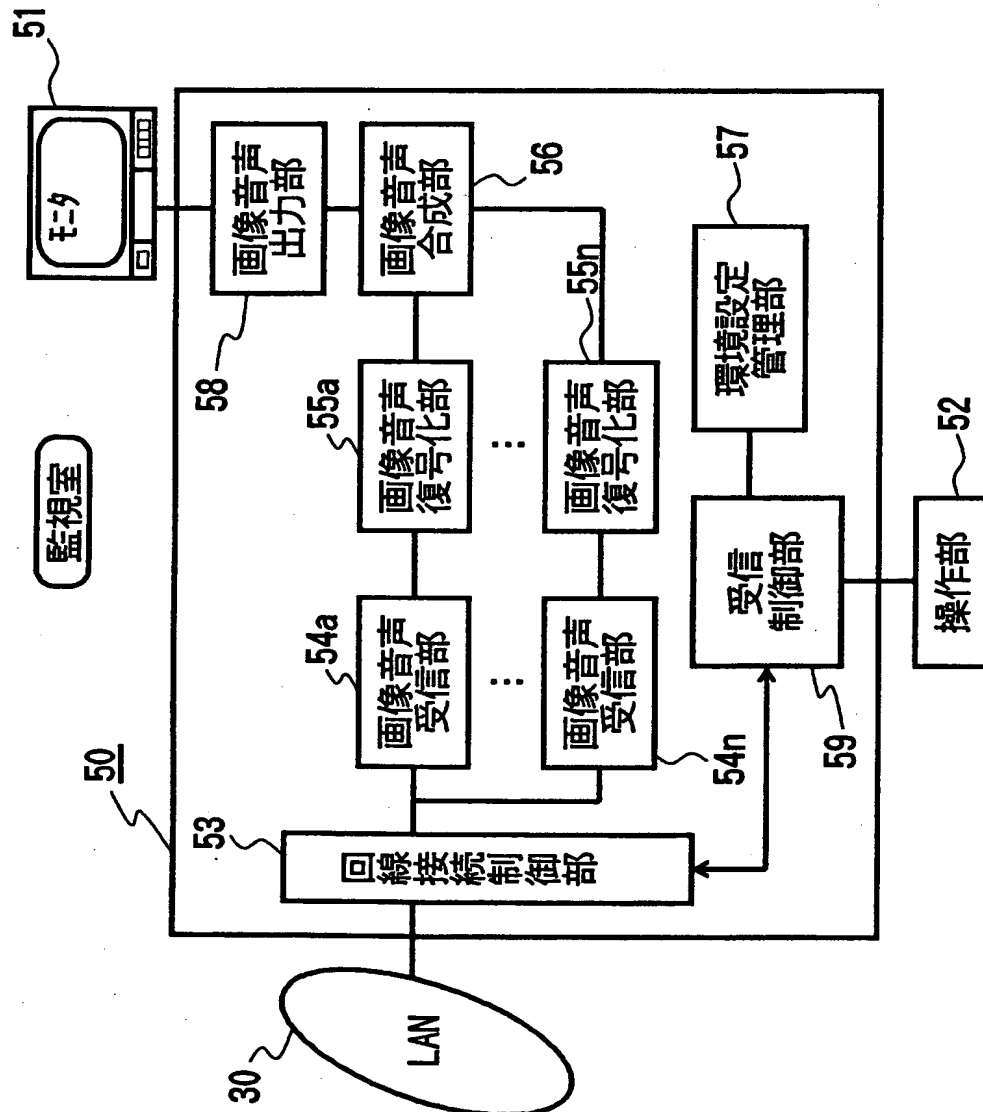
【図 1】



【図 2】

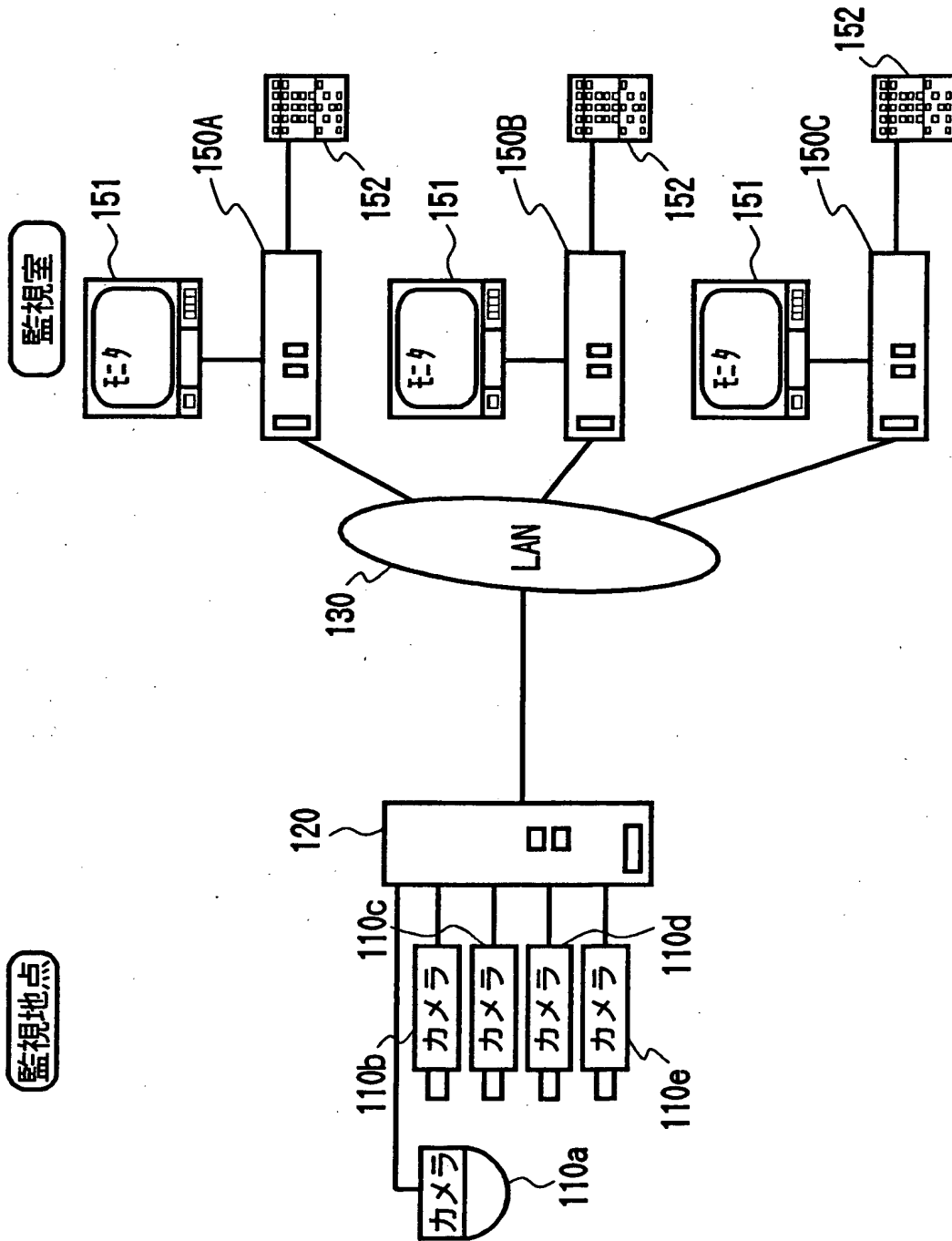


【図 3】





【図 4】



【書類名】

要約書

【要約】

【課題】 特別な装置を用いることなく、1台の画像受信装置で複数地点からの画像データをモニタリング可能にすること、および、1台の画像送信装置で画像データを同時に複数地点に送信可能にすること。

【解決手段】 カメラ撮影画像を圧縮・符号化して送信する複数の画像送信装置からのデータをネットワークを介して並行受信可能な画像音声受信部54a～54nと、複数の画像送信装置からの複数の画像のデータをそれぞれ伸長・復号化する画像音声復号化部55a～55nと、復号化部55a～55nにより復号化された画像の一部又は全部を画像送信装置ごとの画像に分けて選択的に画面表示できるモニタ51と、受信部54a～54nおよび復号化部55a～55nを制御し、複数の画像送信装置からのデータを送信元ごとに受信させ、送信元ごとに分けて伸長・復号化させる制御部59とを備えるよう構成する。

【選択図】

図3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 0 0 0 0 0 5 8 2 1 ]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 8 日
[ 変更理由 ]	新規登録
住 所	大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地
氏 名	松下電器産業株式会社